

問1 日本銀行が物価を安定させ、経済を円滑に動かすために、金利の操作などを行って調整することを何といいますか？

1. 労働政策                      2. 金融政策                      3. 教育政策                      4. 財政政策

問2 景気の悪化やデフレからの脱却を目指し、市場への資金供給を増やす政策を行う中央銀行を何という？

1. 大蔵省                      2. 財務省                      3. 金融庁                      4. 日本銀行

問3 円安が進んだとき、海外での売上を日本円に換算した際の受け取り金額が増加し、利益を得やすくなるのはどのような企業ですか？

1. 輸出企業                      2. 卸売業者                      3. 小売店                      4. 輸入企業

問4 経済全体でモノの値段が継続的に上がり、貨幣の価値が相対的に下がってしまう現象を何といいますか？

1. 手形                      2. 株券                      3. 債券                      4. 通貨

問5 日本銀行が日本で唯一発行を許可されている、紙幣（日本銀行券）を発行する銀行としての役割を何という？

1. 発券銀行                      2. 一般の銀行                      3. 政府の銀行                      4. 銀行の銀行

問6 銀行同士が資金を貸し借りし、経済活動を円滑に進めるために行われる仕組みを何という？

1. 預金貸出                      2. 資産運用                      3. 信用創造                      4. 資金決済

問7 市場の需給によって為替レートが変動する仕組みを何という？

1. 金本位制度                      2. 固定相場制                      3. 変動相場制                      4. 管理通貨制度

問8 銀行が預金を受け入れ、それを貸し出すことを繰り返すことで、社会全体で通貨の量が増える仕組みを何という？

1. 資産運用                      2. 信用供与                      3. 財政投融资                      4. 信用創造

問9 日本銀行が一般の銀行から預金を預かることで、銀行にとっての銀行として機能していることを何という？

1. 一般の銀行                      2. 発券銀行                      3. 政府の銀行                      4. 銀行の銀行

問10 民間銀行の経営が行き詰まった際、日本銀行が資金を貸し出すことで連鎖倒産を防ぐ役割を何という？

1. 中央銀行                      2. 政策金融機関                      3. 市中銀行                      4. 最後の貸し手

問11 お金に余裕がある人から、必要としている人へ資金を融通する仕組みを何という？

1. 金融                      2. 財政                      3. 貿易                      4. 投資

問12 円高になると、原材料や商品を海外から安く仕入れられるため、経営にプラスの恩恵がある企業を何という？

1. 輸入                      2. 中継貿易                      3. 輸出                      4. 再輸出

問13 景気が悪化している際に、日本銀行が国債を買い入れて市場に資金を供給することで下げようとするものは何？

1. 金利                      2. 配当                      3. 利潤                      4. 賃金

問14 日本銀行が景気や物価を安定させるために、金利の調整などを行う経済上の取り組みを何という？

1. 財政政策                      2. 金融政策                      3. 公共政策                      4. 産業政策

問15 税金の受け入れや国の予算の管理など、政府の資金を取り扱う日本銀行の役割を何という？

1. 発券銀行                      2. 市中の銀行                      3. 銀行の銀行                      4. 政府の銀行

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 2</b> 金融政策	金融政策は、景気の加熱や不況に対処するための手段です。景気が良い時は金利を引き上げてお金の貸し出しを抑制し、逆に不況の時は金利を引き下げてお金が回りやすいように調整します。この操作によって物価を安定させ、経済が順調に発展するように支えています。
問2	<b>答え 4</b> 日本銀行	日本銀行は、日本で唯一の紙幣発行権を持つ「発券銀行」であり、「政府の銀行」として国庫金の出納を扱い、「銀行の銀行」として一般の金融機関へ資金の貸し出しを行います。景気が悪い時は金利を下げるなどして、世の中に出回るお金の量を増やす政策を実施します。
問3	<b>答え 1</b> 輸出企業	円安になると、海外で商品を販売して得た外貨を日本円に替えた際、以前より多くの日本円を受け取ることができます。そのため、自動車メーカーや電機メーカーなど、海外での売上比率が高い輸出企業にとっては、業績が向上する追い風となります。
問4	<b>答え 4</b> 通貨	インフレーションが起こると、同じ金額のお金で買えるモノの量が少なくなります。これは裏を返せば、お金そのものの価値（購買力）が低下していることを意味します。モノの値段が上がれば上がるほど、対的にお金の価値は小さくなってしまいます。
問5	<b>答え 1</b> 発券銀行	日本銀行は日本で唯一の「発券銀行」として、日本銀行券を製造・発行する権限を持っています。私たちの手元にあるお札はすべて日本銀行から供給されており、信用ある通貨として全国で通用しています。
問6	<b>答え 4</b> 資金決済	日本銀行にある民間銀行の当座預金口座を使って、銀行同士の支払いを差し引き計算で精算します。これにより、大量の現金を持ち運ぶことなく、安全かつ確実に「資金決済」が行われます。この効率的な仕組みが現代の経済を支えています。
問7	<b>答え 3</b> 変動相場制	1973年以降、主要国は通貨の交換比率を市場の需給関係に応じて毎日、毎時変動させる変動相場制へ移行しました。これにより、各国の経済情勢や金利差、政治状況によって為替レートが柔軟に動くようになっています。
問8	<b>答え 4</b> 信用創造	銀行に預けられたお金の一部が借り手へ渡り、その借り手が別の銀行に預け、その銀行がまた貸し出す…という過程を繰り返すことで、元の現金以上の預金が生み出されます。このように金融機関が預金を生み出すことを信用創造と呼びます。
問9	<b>答え 2</b> 発券銀行	一般の銀行は、日本銀行に当座預金口座を持っています。日本銀行は銀行の銀行として、民間銀行からの預金を受け入れるだけでなく、銀行間での資金決済や一時的な資金不足に対する貸し出しを行っています。これにより、金融機関全体の安定が保たれています。
問10	<b>答え 4</b> 最後の貸し手	民間銀行同士でも資金の貸し借りができない異常事態において、日本銀行が資金を貸し出すことで破綻を回避させます。これが「最後の貸し手」としての機能です。この存在があることで、預金者は安心して銀行にお金を預け続けられます。
問11	<b>答え 1</b> 金融	預金者からお金を預かり、それを企業や個人へ貸し出す銀行などの金融機関がこの仲介役を担います。お金の貸し手は利息を受け取り、借り手は事業や購入のために資金を得ることで、経済活動が活発になります。
問12	<b>答え 1</b> 輸入	円高になると、海外の商品を少ない日本円で買うことができます。これにより、燃料費や原材料費のコストが下がるため、輸入企業はコスト削減の恩恵を受けることができます。また、輸入品の価格が安くなれば、家計にとっても生活費を抑えられる効果があります。
問13	<b>答え 1</b> 金利	日本銀行は国債を買い入れることで銀行の持つ資金を増やします。すると、銀行は貸し出すおみに余裕ができるため、企業や個人へのお金の貸し出しを促進しようと金利を下げます。金利が下がると借金がしやすくなるため、投資や消費が活発になり景気の回復が期待されます。
問14	<b>答え 2</b> 金融政策	日本銀行が行う金融政策は、民間銀行が日本銀行から借りる際の金利を調整したり、市場に出回るお金の量を操作したりすることで、景気をコントロールします。金利を下げれば企業は投資しやすくなり、金利を上げれば景気の過熱を抑える効果があります。
問15	<b>答え 4</b> 政府の銀行	日本銀行は政府の預金を預かり、国税の受け入れや公共事業費などの支払いを処理します。この役割を担うことで、国の資金を安全かつ効率的に運用することが可能になっています。政府との連携が不可欠であり、中央銀行としての重要な職務の一つです。